



淀川河川公園を楽しむ情報誌・葦笛

よしぶえ

2014 冬 NO. 76



第18回淀川河川公園 凧揚げ大会 2/23(日)(小雨決行)

淀川河川公園の真冬の楽しみの一つ、太間地区の凧揚げ大会です。毎年大人気、和風の手作り教室(10時～・13時～各1時間 材料費200円 先着100人)や、凧の出来映えや凧揚げの技量を競うコンテスト(11時～ 保険代50円 定員200人 各賞用意)も。凧のプレゼント(10時～ 先着50人)もあります。「日本の凧の会」の協力による凧の病院開設ほか、珍しい変わり凧や20畳サイズの淀川大凧のデモフライトは圧巻! みんなで淀川の空いっぱい凧を揚げれば、冬の寒さもいっしょに飛んでいきそう!

青空の下、オリジナル作品に挑む若き参加者たち

淀川寛平マラソン2014

東日本大震災被災地支援・淀川河川公園40周年記念

3/2(日)(雨天決行)

[申込は全種目締め切りました]

「よしもと芸人たちと、Let's Run!」
枚方地区をスタート・ゴールに、フルマラソンは赤川地区まで下った後、枚方市牧野まで上って折り返し。10キロコースは太間地区、ファミリー3キロコースは伊加賀地区でそれぞれ折り返します。大会は間寛平さんが東日本大震災被災地支援のために発起。当日は楽しい応援ステージほか、最終ランナーがゴールするまで応援されます。本レースでは参加費から1人100円が被災地支援と淀川環境保全に使われます。

有森裕子ハート・オブ・ゴールド支援レース

第4回淀川国際ハーフマラソン

3/21(金・祝)(雨天決行)

[申込締切2月20日 定員合計8,000人(ただし定員になり次第締め切り)]

「3.11子ども animo プロジェクト—学校を助けよう! Love 遊 淀川 みんなで淀川河川公園をきれいに!」
外島地区をスタート・ゴールとして、ハーフマラソンは太間地区まで上った後、赤川地区まで下ってからゴールへ。また、10キロコースは仁和寺野草地区で折り返し、ファミリー3キロコースは八雲地区で折り返し、それぞれ外島地区のゴールへ向かいます。大会ではオリンピックメダリスト有森裕子さん、協力団体理事のフォークシンガー高石ともやさんが、募金参加を呼びかけます。本レースでは参加費から1人100円がチャリティー活動に使われます。

よしぶえはここにあります

- 海老江、赤川、太子橋、西中島、豊里、佐太西、仁和寺野草、太間、枚方、背割堤、鳥飼西、鳥飼上、三島江、大塚、島本、大山崎地区の公園管理所
- 守口サービスセンター(守口市外島町 TEL.06-6994-0006) ●太間サービスセンター(寝屋川市太間町 TEL.072-838-0888) ●鳥飼サービスセンター(摂津市鳥飼下 TEL.072-654-9800)
- 庭窪レストセンター(守口市八雲北町 TEL.06-6993-0765) ●国土交通省淀川河川事務所(枚方市新町2) ●国土交通省近畿地方整備局(大阪合同庁舎第1号館/大阪市中央区大手前)
- ドーンセンター、総合生涯学習センター、大阪府立中央図書館、大阪府立中之島図書館、大阪府立体育会館、大阪市中央体育館、大阪市立城北市民学習センター、大阪市立弁天町市民学習センター、大阪市立阿倍野市民学習センター、大阪市立難波市民学習センター、鶴見区民センター、大阪市城東区役所、クレオ大阪北、クレオ大阪東、淀川区役所、吹田市文化会館、豊中市市民会館、箕面市中央生涯学習センター、大東市市民会館、守口市市民会館、守口市中央公民館、寝屋川市市民会館、寝屋川の自然を学ぶ会、高槻市生涯学習センター、枚方市市民会館、枚方市立サンプラザ市民センター、門真市立図書館、門真市民文化会館、摂津市市民文化ホール、茨木市市民会館、島本町ふれあいセンター、大山崎町立中央公民館、八幡市文化センター、(公財)尼崎市民総合文化センター、松下記念病院、アイン薬局、祥風苑美入湯、スーパー銭湯摂津の湯、東香里湯元水春、極楽湯枚方店、大阪府営公園、摂津市民図書館

よしぶえは 淀川河川公園ホームページ でもご覧いただけます。 <http://www2.kasen.or.jp/> 淀川河川公園 検索 2014.2

問い合わせ/淀川河川公園 守口サービスセンター 〒570-0096 守口市外島町4-18 TEL.06-6994-0006



淀川河川公園を楽しむ情報誌・葦笛

よしぶえ

2014 冬 NO. 76



第97回淀川の自然を楽しむ会 川原の野鳥観察会 2/16(日)(小雨決行)

参加申込
はがきに住所・氏名・電話番号(同伴者とも)を明記の上、〒570-0096 守口市外島町4-18 淀川河川公園守口サービスセンター「淀川の自然を楽しむ会係」宛まで。また、電話 06-6994-0006 でもお申し込みいただけます。締め切りは2月13日(木)。

冬、水・空気も冷え、草木はその営みを停止する静かな季節。けれど、淀川にはほかの季節にも増してたくさんの命が集います。毎年恒例となった枚方地区で開く野鳥観察会では水鳥・山鳥…そして猛禽まで幅広い種の鳥たちが見られ、昨年は観察会史上最高の49種の野鳥を確認できました。今年も運と視力と努力と…があれば、記録更新も! 「シニア自然大学」メンバーを講師に、野鳥探しのいい一日を過ごしましょう。集合は9時30分に京阪枚方市駅1階中央コンコース、あるいは公園現地(本誌中面の地図参照)。10時開会。(雨天中止時はメセナ枚方にて野鳥勉強会) 定員200名。昼食・飲み物は各自持参(あれば双眼鏡・鳥図鑑なども)。※暖かくしてお越しください。



昨年は総勢197人が参加

「大阪発、公園からの健康作り」 第4回なにわ淀川ハーフマラソン 4/5(土)(雨天決行)

西中島地区をスタート・ゴールに、ハーフマラソンは一律屋野草地区まで上り、JR神戸線鉄橋まで下ってゴールを目指します。10キロコースは豊里地区で折り返します。完走ペースでとにかく走りきりましょう!
[参加申込] ランネット、スポーツエントリー、スポーツワンへ。定員は高校生以上合計6,000人。申し込み締め切りは3月7日(金)。表彰は総合6位までと年代別3位まで。他、お問い合わせは、なにわ淀川ハーフマラソン係(事務局:スポーツワン内) TEL: 0570-00-2101(10時~18時・土日祝日を含む)



昨年の台風被害による 公園使用制限のお詫び

平成25年9月の台風18号では、大出水により公園が冠水被害を受け、多くの地区の閉園や運動施設の使用禁止など、大変ご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。まだ一部の運動施設等が使用禁止となっていますが、早期の復旧に努めて参ります。ご理解ご協力をお願い致します。

寒い冬も、淀川河川公園なら楽しみ方いろいろ。

芝生広場から仰ぐ大きな空に雁を舞い揚げたり、連なる水辺の自然をめぐって、澄んだ空気の中をランニングしたり、冬の日差しの下、鳥のさえずりを聞きながら散歩を楽しんだり…。淀川全域に広がる各地区で、冬ならではのメニューをお楽しみください。

市街地を貫く淀川、その河川敷は、「里山」と並ぶほどの自然の宝庫です。特に冬には、この希少な環境をたよりに沢山の野鳥が集います。今回は枚方地区で開く野鳥観察会を、より深く味わうための特集です。



野鳥ファン必見！…か？

なぜ！なぜ？野鳥名

身近な留鳥や、今だけの冬鳥や旅鳥。そして名前もよく知らない鳥たち…全ての鳥たちには名前があり、命名には様々な理由があります。(わからないものも…)「諸説あり」もありますが、みなさんはどれだけご存じですか？枚方地区でよく見られる鳥たちの写真と紹介を、左右に分けてみましたので、探鳥仲間といくつご存じか挑戦してみてください。一つでも二つでも、発見があれば、鳥たちとの出会いがちょっと変わるかも。



(写真提供：遠藤義人さん、徳田初江さん、中川久男さん、西川泰太さん、松下孝雄さん他)

- 01 中国では蒼鶺。蒼は蒼白のあお。青白いさまという意味で、背中や灰白色を帯びた青色を指す。
- 02 「白羽ノ鮮明(さや)キ意二通ズルカ、尚考フベシ」(大言海)。白鷺のように透明な羽の鱗を強調して「白鷺」。
- 03 最も大きな白鷺。
- 04 醍醐天皇の宣旨(せんじ)に従った褒美に五位(貴族の階級のひとつ)の位を与えられたから。幼鳥は星模様のので「星五位」。
- 05 水を掻いて着ることから命名。古名「にほ」も水に入る鳥という意味。「二寶鳥」などと万葉集に7首詠まれる。
- 06 頭に黒い冠羽をもつため冠鳩。
- 07 丘草鳩。語源なし。英名は怪しいの意。
- 08 軽鴨は日本名。一般にカモ類は冬鳥だが、カルガモは夏でも「軽池」で見られたことから軽鴨と呼ばれた(万葉集・紀皇女)。
- 09 日本で見られるガン・カモ類の中で、1,2番に小さい鴨。
- 10 雄の頭が赤色なので緋鳥鴨(実際は赤褐色)。江戸時代は緋鳥で、後に鴨をつけた。
- 11 カモを代表するカモの中の鴨なので「真」がつく。
- 12 カラスのように黒いので「鳥」の音読みで「う」。英名では海のカラス。
- 13 (定説なし)「護田鳥(おすべ)・田の番人をしていような鳥から」。
- 14 後から後から追いついて前と重なることを「しき(築き、茂き)」。群れが舞い降り、または捕食する姿などの語義からであろう。
- 15 百羽・千羽の大群をつくるので「千鳥」。額から眉斑までを通して白。
- 16 名前に反し、背中は灰色。オオセグロカモメは黒い。英名はニンシを食べるカモメ。
- 17 ユリのように白い綺麗な鴨。ユリは古
- 18 日本書紀の国生みの項で首尾を揃らし「嫁ぎ教え鳥」といわれる。鶺鴒は古くは脊令ともいい、背筋が滑かな鳥。室町期以降に「鶺鴒」の漢字が先にあって、あとで読みがつくられた。その以前は「にはくなぶり、まなはしら、つつ」。
- 19 セグロ・ハクなどと分けられたのは江戸期から。
- 20 ハシはくち嘴。太いから嘴太鳥。カラスは「黒し」が転じたという説も。
- 21 ハシはくち嘴。細いから嘴細鳥。英名は鳴き声の擬音語。ハシフト、ハシボリの違いが認識されたのは江戸期から。
- 22 大鷹・蒼鷹(あおたか)。蒼のあおは青みを帯びた灰色。体が大きく鷹狩りで活躍した雌が大鷹で、雄は勢宇(せう)と呼ぶ。
- 23 水中の魚を探って捕ることから水深探がみさごに。万葉集では三佐呉・水沙児・三沙児などと表記。英名の語源はラテン語の骨を砕くもの・鳥。
- 24 「速い翼」が転じたもの。属名 Falco の語源の古典ラテン語では、羽が細い三日月形の草刈鎌を指す。
- 25 (定説なし) 北関東でトンボをザンゲンポーなどと呼び、下から見上げた姿が似ていることから鳥のゲンポーとなったのでは？
- 26 飛行能力に優れていることから「飛び」。英名の字義のひとつに風がある。トンビの呼び名は江戸期から。
- 27 いろいろなる鳥の鳴き真似・ぐぜり鳴きをするので「百舌」。「も」は百「す」は鳥を意味する接尾詞。
- 28 ヒワは「ひわかし」が語源で可憐で

若々しいという意味。体色の黄緑色を「ひわ色」という。鶺鴒は弱と鳥の合字。「弱きにあらず、その形の繊小なる意」(大言海)。

39 万葉集に49首詠まれる。

40 鳴き声の古語「曾比(そび)・少微(せうび)・世美(せび)」がせみに訛り、川に聞こえることから。「翡翠」と書くが、ヒスイのように美しいからではない。字が充てられたのは室町期、カワセミが先で、宝石の方が美しい羽の色に似ているからつけられた。また「そび」は、「しよび」「しよびん」にも変化。

41 口を嚙むから。冬鳥なので冬によく聞こえた地鳴きの声も夏になると全く聞こえなくなるから。名前は奈良期にあられる。

42 晴れた日に天高く舞い上がり、鳴くことから「日晴」(または「日晴鳥」とかいてヒバリと読む。江戸期の新井白石、貝原益軒が記している。古事記、万葉集では「比婆理」。

43 ヒーヨーヒーヨという鳴き声が語源。平安貴族に人気の鳥で、当時は「比衣土里(ひいどり)」と呼ばれ、昔から鳴き声で命名された。また、稗を食うからという説もあるが、稗はほとんど食べない。甘党であることが分かっている。

44 椋の樹洞に巣をつくるから椋鳥。椋の実を群れはむところから「群木鳥・群来鳥・雲鳥」とも。安土桃山期よりこの名で呼ばれ、江戸期には騒がしい鳥とレッテルが。

45 佳(とり)と矢で雉。矢のように数十メートル飛んで地に落ちる鳥。

46 「ケリリ」という鳴き声から。田の上で飛び降りる様子が里(距離の単位)を計っているようなので「計里」とも。

47 古名「土塊鳩」。つくれは土のかたまり。雨覆と肩羽の模様が雉のキジに似ているから。また全体の羽色が木地を思わせるから。古典和歌に見るヤマハトはキジハトを指していた。江戸期「本朝食鑑」などには、「耐鷓」とも。ヒツヒツ・カッカツといった鳴き声から「火焚き鳥」。ひたぎとなった。

38 眼の周りが白いので。眼の周りが刺繍のようなので「繡眼鷓」とも。「見」は小さな・愛すべきもの。英名は銀眼。群れであっても鳥は翼が触れるほど近づくと嫌うが、メジロは厭わない。ねぐらでは隣と接して